

審議会（第2回）における審議事項

●本日の審議のポイント

新庁舎移転整備を契機に本市がさらなる全市的な発展を目指していくために必要なことは

論 点	【参考】第1回審議会における主な関連意見
1 都心地区のあり方について (1) 大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区の目指すべき方向性などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま新都心と大宮のエリアは非常に近接しており、一大都心形成のチャンスを手く生かしてほしい。大宮区役所周辺エリアのまちづくりや、氷川参道を中心とした歩くネットワークの形成など、ウォーカビリティをより強化することが大切。 ・さいたま新都心周辺の流動人口を考える必要がある。 ・氷川参道の沿道に賑わいができれば、観光地として人を呼び込める。
(2) 浦和駅周辺地区の目指すべき方向性などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・人の動きが寂しくなるおそれがあるため、人の流動を維持できるような仕組みが必要 ・文教都市として、誰もが使いやすい空間づくりを目指すべき。 ・災害時の避難スペースも必要
(3) 2つの都心地区の連携などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮とさいたま新都心の有機的なつながりだけでなく、さいたま新都心と浦和のつながりについても検討が必要
2 21世紀半ばを見据えた将来的な都市づくりの方向性について <ul style="list-style-type: none"> ・広域的なネットワークや、副都心などの他の拠点の目指すべき方向性などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎は4つの副都心からのアクセスが悪いため、改善が必要 ・新庁舎整備予定地周辺の交通整備が必要 ・東日本の玄関口である立地を生かして、海外から人を呼び込む取組が必要 ・副都心である岩槻と美園間の鉄道がいまだ繋がっていない状況